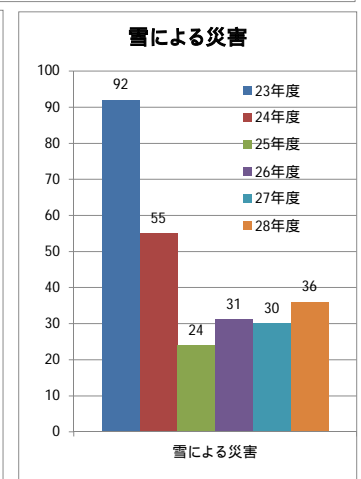
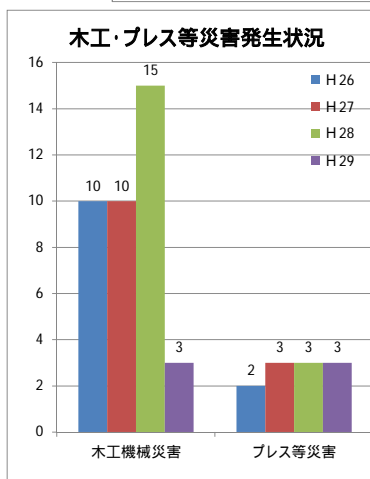
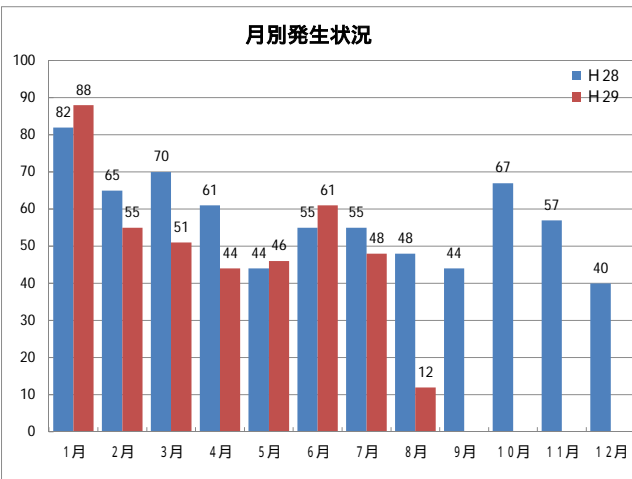
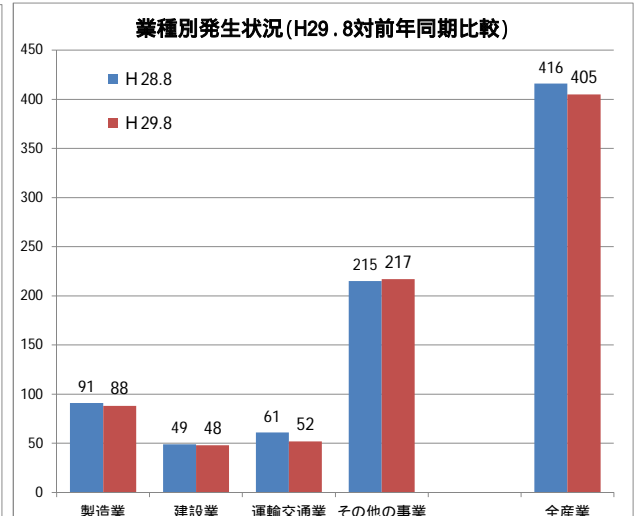
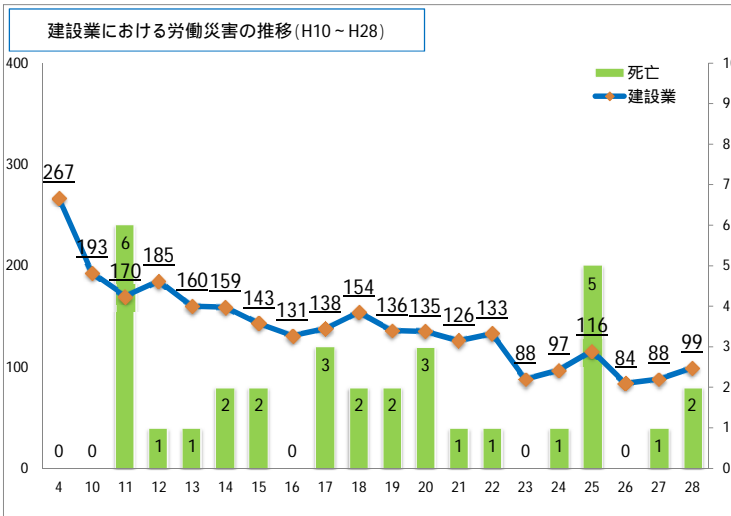
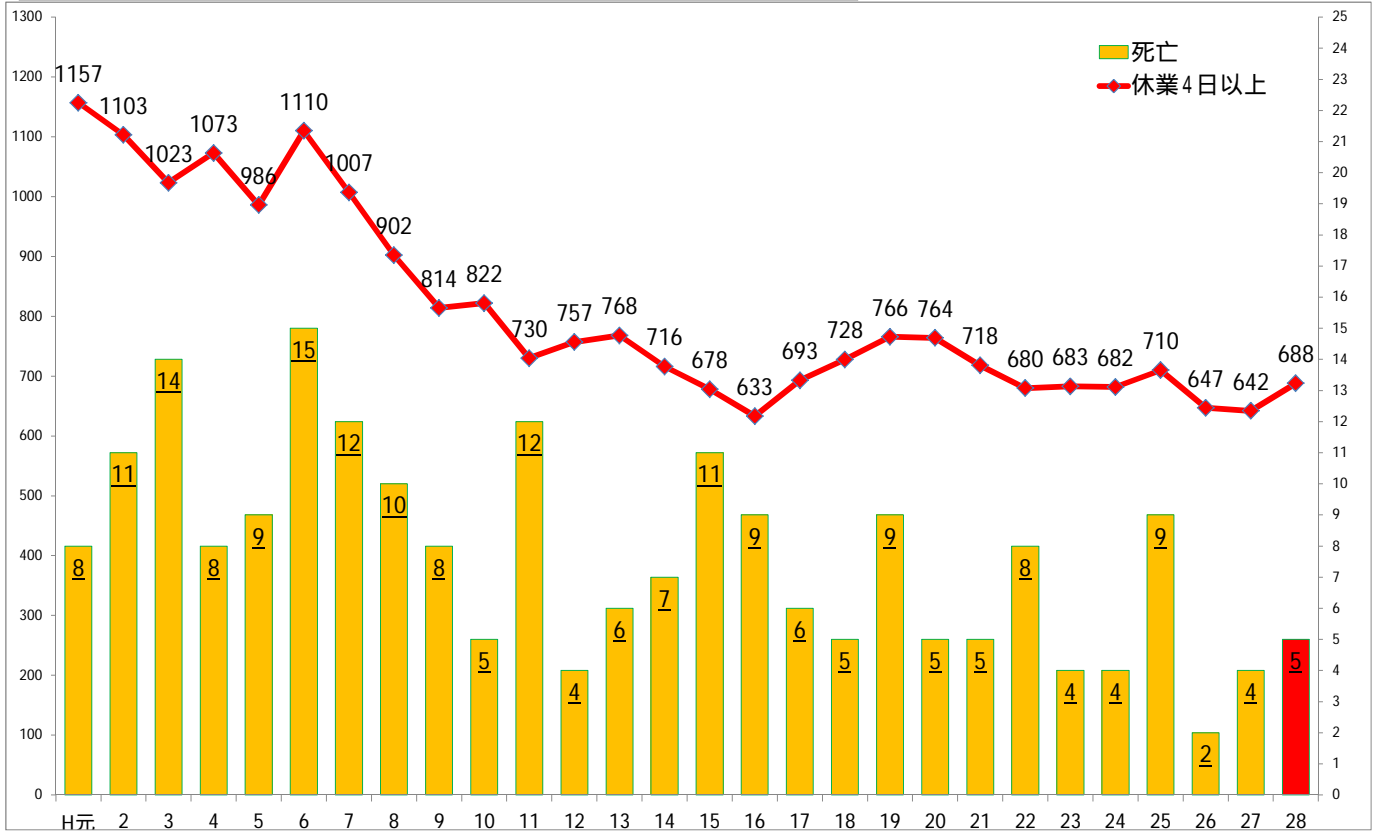


労働災害の推移(平成元年～平成28年)

新潟労働基準監督署



前年の棒グラフデータは確定値

平成29年8月31日現在 帳票登録状況

雪の災害の統計期間
 23年度(23年11月～24年3月)
 24年度(24年11月～25年3月)
 25年度(25年11月～26年3月)
 26年度(26年11月～27年3月)
 27年度(27年11月～28年3月)
 28年度(28年11月～29年3月)

業種でその他の産業が増加しています。中でも卸・小売業、社会福祉施設、飲食店などにおける第三次産業の災害が増加しています。また、第三次産業では、多くのパート、アルバイト、派遣労働者が働いています。安全で安心な職場環境は、働く方だけではなく、顧客や利用者に対するサービス向上にもつながります。そのため、経営首脳者と従業員が積極的に安全管理活動に取り組むことが重要です。

「4S活動」、「KY活動」、「安全衛生教育(研修)の実施」、「経営首脳者による職場巡視」などの実施について、職場を点検してみましょう。

職場環境の改善、労働者の教育、安全衛生管理体制の整備。この3つの対策を取り組んでいただくようお願いします。労働災害が発生してから労働災害防止に取り組んでは遅いです。事業場と労働者で協力し、安全な職場を

職場の安全衛生活動については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

(ポータルサイト)

「第三次産業における労働災害防止対策」(安全衛生についての資料)

「職場の安全サイト:災害事例」(災害事例) (災害事例・ヒヤリハット事例)

(パンフレット)

「第三次産業で働く皆さまへ～安全で安心な職場をつくるために～」